

「明治日本の産業革命遺産 九州・山口と関連地域」は、日本経済の屋台骨を支える基幹産業である製鉄・鉄鋼、造船、石炭産業などの重工業分野において、幕末から明治後期にかけ、西洋技術を導入し、日本が非西欧地域において、他に先駆けて、かつ、極めて短期間のうちに産業国家としての発展を遂げた一連の道程を証言する産業遺産群（現役産業施設を含む）です。

私どもは、これらの産業遺産群の平成27年度の世界文化遺産登録を目指し、これまで一体となって取り組んでまいりました。

さらに、国におかれては、稼働中の産業遺産を含む産業遺産群を世界遺産登録に向けて推薦する場合の制度的前提となる新たな枠組みを昨年5月に閣議決定され、これに基づき、去る8月27日には「稼働資産を含む産業遺産に関する有識者会議」が開催され、「明治日本の産業革命遺産 九州・山口と関連地域」を、推薦候補として選定していただいたところであり、現在、ユネスコへの推薦案件決定に向けた最終的な調整が行われていると伺っております。

私どもは、この「明治日本の産業革命遺産 九州・山口と関連地域」を世界文化遺産に登録することにより、貴重な産業遺産を後世に残し、その歴史的、技術的、文化的な価値を世界に発信できるとともに、産業国家日本の原点を見つめなおし、成長・発展する、豊かで強い日本経済の再生に大きく貢献できるものと確信いたしております。

つきましては、「明治日本の産業革命遺産 九州・山口と関連地域」が、本年度、政府推薦案件として最終的に決定されますとともに、民間企業における稼働中の産業遺産の管理保全のための政府支援に向けた現在の制度的枠組みを、今後とも、引き続き堅持していただくよう、特段の御高配を切にお願い申し上げます。

「九州・山口の近代化産業遺産群」

世界遺産登録推進協議会 会長	鹿児島県知事	伊藤 祐一郎
	福岡県知事	小川 洋
	佐賀県知事	古川 康
	熊本県知事	蒲島 郁夫
	山口県知事	山本 繁太郎
	岩手県知事	達増 拓也
	静岡県知事	川勝 平太
	北九州市長	北橋 健治
	大牟田市長	古賀 道雄
	中間市長	松下 俊男
	佐賀市長	秀島 敏行
	荒尾市長	前畑 淳治
	宇城市長	守田 憲史
	鹿児島市長	森 博幸
	萩市長	野村 興兒
	釜石市長	野田 武則
	伊豆の国市長	小野 登志子